

高齢聴覚障害者（ろう老人）に対する地域生活支援について

一般社団法人 横浜市聴覚障害者協会

〒222-0035 神奈川県横浜市港北区鳥山町1752 横浜ラポール3階

助成事業の概要

ろう高齢者が安心して暮らせる形態を構築する（環境を創り出す）ことを目的として共同生活（介護サービス、訪問介護、デイサービス等）について福祉サービスのあり方等の専門知識や技能などを身につける研修事業を行う。

(1) 平成30年5月19日（土）

午後1時30分～4時 都筑地区センター

田中 清氏 NHK手話ニュースキャスター兼手話通訳者

第1回講座 テーマ「高齢のろう両親をみて」

(2) 平成30年6月17日（日）

午後1時30分～4時

西区福祉保健活動拠点「フクシア」

及川 リウ子氏 NPO法人 デフ・サポート足立代表

第2回講座 テーマ「ろう高齢者のための支援について」

(3) 平成30年8月5日（日）

午後1時30分～4時

横浜市健康福祉総合センター 8階

山岸 信治氏 神奈川県聴覚障害者連盟参与NPO法人 川崎市ろう者協会元理事長

第3回講座 テーマ「ろう高齢者の将来は大丈夫か」

(4) 平成30年10月6日（土）

午後1時30分～4時

小机地区センター 3階

菅野 義矩氏 社会福祉法人とにもわ会 理事長、横浜市議員

第4回講座 テーマ「障害者グループホームと私」

(5) 平成31年3月24日（日）

午後2時～4時30分

横浜市健康福祉総合センター 8階

植野 圭哉氏 社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会理事長、千葉聴覚障害者センター所長

第5回講座 テーマ「ろう者のためのグループホームをつくるには・・・」

月に1回勉強会・研修会を実施した。（年12回）

事業の成果

(1) 日程、会場、講師、テーマは申請したときの計画とちがったところがあったが、講師の都合により日程調整、会場確保などに苦労しました。しかし、目的に達したのでそれぞれの講座から大きな収穫が得られたと考えています。

(2) 過去に特養老人ホーム建設をめざす活動を断念していた私たちにとって聴覚障害者が安心して暮らせる社会を築くことができることは夢ではないと実感がしたので、地域活動センター、就労継続B型作業所、障害者グループホームの設立に対する意欲が上昇し、勉強心がアップすることが出来た。

(3) 各講座の主旨をまとめると

第1回 介護体験（介護保険制度が出来る前）

・・・障害者グループホーム

ニン」等を実施する。

第2回 地域活動センター・・・ろう高齢者が
生き生きして楽しめる場

第3回 生活支援・・・・・・・・ろう高齢者のひと
りぼっちをなくして

第4回 障害者グループホーム・・・・精神障
害者・知的障害者等の施設を作り方と運営方法

第5回 ろう高齢者のための施設・・・・地域
活動センター、就労継続B型作業所、障害者グル
ープホームの作り方と運営方法

（4）行政との信頼関係を大切にすること。

（5）第1回～第4回の講座を聴講したことがき
っかけで平成30年10月16日～17日の2日
間に札幌市聴覚障害者協会の各福祉施設を視察し
た。

成果の広報・公表

（1）当協会の機関紙「はま会報」掲載

（2）報告書配布（作成中）

（3）特別報告会2回

今後の展開

（1）令和元年度にろう重複障害児・者をもつ親
の会「ときわ虹の会」と連携して就労継続B型作
業所設立を計画する。併せて、横浜駅、桜木町駅
の辺りに地域活動センターを設置することを目指
していく。

（2）東京都足立区のNPO法人デフ・サポート足
立の地域活動センターを視察する。

（3）千葉県聴覚障害者協会の施設を視察する。

（4）サービスの利用には「介護支援区分」「障
害支援区分」を受けておくことが重要であること
からろう高齢者への啓蒙とろう高齢者が受けやす
い環境作りに取り組む。

（5）理解者・支援者拡大に向けて上映会「ケア